

「青梅市地域共生社会推進セミナー」実施報告

1 開催日および場所

令和7年10月28日（火）13：30～15：30

場所：市役所3階議会棟大会議室

2 セミナー開催内容

・第1部 「青梅市が目指す地域共生社会」

(1) 地域福祉総合計画概要版を用いた地域共生社会の方向性の説明

(2) 「地域共生社会の実現に向けて」

講師：地域共生社会推進審議会 山下 望 会長

・第2部 「"地域共生社会"を目指して」（厚生労働省制作「ともいき研修」の実施）

研修の詳細は、以下の厚生労働省HPのとおり

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/shakaihoshou/tomoiki_kenshu/index.html

3 参加者

45名

4 その他

研修受講者には、研修修了証を交付した。

5 アンケート結果

(1) 「明日から踏み出す一歩」としてあなたが宣言したことは何ですか。

- ・地域のこどもたちの見守り
- ・友人、知人、回りの方々と関わる時間を少しでも多く持つ。
- ・出会った人には笑顔で声をかける。
- ・挨拶が地域を活性化させる。「笑顔で愛さつ」
- ・スポーツを通して高齢者の健康を維持し、社会貢献できる人たちを増やす。
- ・小学校通学路の旗振りがいない曜日あり、見て見ぬふりをしていた

が、旗振りに参加する。

- ・あいさつを一言添えてする。

(2) 本日の研修で、あなたにとって一番大きな学びは何ですか。

- ・同じように地域を良くしたいと思う人が多かったこと
- ・小さな勇気が1人の人を助け支えられる可能性があること。それが社会を変える一歩になること。
- ・支え合って生きることの大切さ
- ・元気な高齢者を増やすために何をするかを改めて考える機会になった。
- ・1つの活動ではなく複数の活動が求められ、そのために活動するメンバーを増やすのが課題になると考えられる。一方、少子化は一段と進んでおり、火急的緊急課題と感じた。
- ・他人事が多い地域になってきた昨今、地域への興味がある人がこんなにたくさんいることが分かった。
- ・他人がどう思って暮らしているか、自分がどんな思いで暮らしているか、暮らしていきたいかなどを知ることが大切と感じた。
- ・会話をすることで、自分だけでなく他の人の考える未来像をお互い理解し合えるのではないかと思った。現在、そして未来で困った出来事があった場合その人に何が必要なのかを的確に早くつかむことができると考えられたことが大きな学びであった。

(3) この研修を多くの方に広めていくためのアイデアを教えてください。

- ・町内会、自治会単位で研修ではなく話し合い形式で実施すれば、すくなくとも底辺に話が届くと思う。
- ・教育が大事。まず若い人たちが学校などで今日の内容をこんなに短時間ではなくもう少し時間をかけて学ぶ機会を持つことが重要だと思う。小学生、中学生それぞれの年代に合わせて学べれば今よりもっと良い未来が開けると思う。
- ・車がない人は市役所に行くまで大変であるため、出前研修も考慮しては？
- ・今回の研修では今までに比べて随分と参加者が多くなったと感じた。

すばらしいこと。今後も続けていただきたい。

- ・ 様々な地域から参加していることを考えると、この成果を発展させて、地域毎に特性や必要なことを考慮して実行する活動体をそれぞれに作っていければよい。
- ・ 山下会長と共にともいき協力隊の発足
- ・ スーパーやコンビニなどのレジ係は、客が生活困窮者であることが分かる場合もあると思う。そのような人を福祉サービスに繋がられるようなことができればよい。